

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
災害看護論	NSP42_001	必修	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子 他	410	mariko.horiguchi	木曜日 15:00~18:00		
授業の目的・概要	災害が地域や人々の健康と生活に多大な影響を及ぼすことを理解し、自ら自然災害を疑似体験した上で、災害サイクルや活動現場に応じた被災者の健康や生活のニーズに対する看護の果たす役割について理解することを目的とする。また、災害医療・看護の基礎知識を理解し、災害医療の特徴・災害発生前の準備および災害の情報と亜急性期の看護、被災者への生活支援・看護職に求められるコーディネーターとしての役割、さらに災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護の実践に必要な知識・技術を講義する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中およびリアクションペーパー、オフィスアワーにて受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めてほしい。				
教科書	看護の統合と実践②災害看護学/編:小井土雄一、石井美恵子/メヂカルフレンド社/2020				
参考書	看護の統合と実践③災害看護/編:酒井明子、長田恵子、三澤寿美/メディカ出版/2022				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	災害の種類と疾病構造、災害サイクルの特徴を説明することができる			NS(4)、NS(5)	
②	災害が地域や人々の健康や生活に及ぼす影響を説明することができる			NS(1)、NS(2)、NS(4)、NS(5)	
③	災害サイクルに応じた看護の役割について説明することができる			NS(4)、NS(5)	
④	病院における災害時の院内外での医療救護活動について説明することができる			HSU(3)、NS(4)、NS(5)	
⑤	被災者および救護者の災害によるストレスとその対処法を説明することができる			NS(1)、NS(2)、NS(4)、NS(5)	
⑥	自然災害 発災時の初期行動等について説明することができる			NS(1)、NS(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	災害時の保健医療とは 災害および災害看護に関する基本的知識	講義 GW・発表	事前課題：国内外の災害、災害看護に関する事柄を新聞、教科書等から情報を得ておく。学習内容を教科書に沿ってまとめる。	1	
2	災害時の保健医療とは 災害看護とは			1	
3	災害保健医療対応の理解 災害の理解 災害サイクル	講義	事前課題：災害時の医療救護活動と法制度、CSCATTT、DMAT、DHEAT、救護活動についてまとめる。	1	
4	平時の救急医療と災害医療 災害と法制度 CSCATTT DMAT			1	
5	災害保健医療対応の理解 災害時の倫理原則と課題	講義 GW・発表	事前課題：災害時の倫理原則と課題についてまとめる。	1	
6	要配慮者への看護 災害サイクル各期と看護の役割	講義	事前課題：要配慮者への看護についてまとめる	1	
7	子ども 妊婦褥婦 高齢者 障害者 継続治療 医療依存度の高い人			1	
8	超急性期・急性期の災害保健医療と看護実践	講義	事前課題：超急性期、急性期、亜急性期、慢性期、静穏期の医療ニーズと看護実践についてまとめる。	1	
9				1	
10	亜急性期・慢性期・静穏期の災害保健医療と看護実践 トリアージ	講義 GW・発表		1	
11				1	
12	演習 トリアージ	演習	事前課題：トリアージの方法、実施場所、トリアージタグの記載方法についてまとめる。	1	
13				1	
14	災害に関連した特殊な医療・看護実践	講義	事前課題：特殊な医療・看護実践、についてまとめる。	1	

【専門教育科目/看護の統合と発展】

15	災害時の特有の疾病	講義	事前課題：災害時特有の疾病についてまとめる。					
試	定期試験							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	0	0	20	20	100	
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	10	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10	20	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	筆記試験により学習成果を評価する。講義の内容と看護師国家試験問題の試験とする。					必要に応じて結果をフィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥	✓						
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	ノートに整理した事前課題を評価する。					事前学習を授業中に確認する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	グループワークでの取組みの姿勢・意欲を踏まえ総合的に評価する。					授業中に助言を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	伊丹 幸子							
教 員 の 実 務 経 験	科目責任者は病院の看護師として 40 年の臨床経験を有し、病院において災害看護を経験している。							
実 践 的 授 業 の 内 容	災害時の広域大規模訓練、災害時の実務経験を元に、内容を構築し、災害看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験への教科書持ち込みは不可とする。</li> <li>対面授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。</li> <li>Teams を使った同時双方向型授業を行う場合には、通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨いたします。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。</li> </ul>							